

令和2年度第1回群馬県慢性腎臓病対策推進協議会 議事概要

■日 時：令和2年7月16日（木）19時～20時10分

■方 法：Web形式

■出席者：群馬県慢性腎臓病対策推進協議会構成員12名（Web参加11名、来庁1名）
事務局 保健予防課、国保援護課 計6名

■事務局：県庁14階141会議室

■配付資料

次第、構成員名簿、協議会設置要綱

資料1-1 令和元年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施報告

資料1-2 群馬県の慢性透析患者の現状について

資料2 「群馬県慢性糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」改訂に向けた見直し
内容について

資料3 令和2年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施計画

参考資料 「群馬県慢性糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」改訂案

■会議内容

1. 開会

2. 挨拶

群馬県健康福祉部保健予防課長 中村多美子

御出席の皆様方には、腎臓病の関係、また新型コロナウイルス感染症の対応に、日夜御尽力いただいておりますことに心から敬意を表する。今回は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、オンラインでの開催とした。本協議会は平成24年度に発足し、今年度で9年目を迎えることができた。委員の皆様方には、忌憚のないご意見を頂戴したい。

群馬県慢性腎臓病対策推進協議会会長 廣村桂樹

御出席の皆様方には、新型コロナウイルスへの対応等も大変なところ本協議会に参加いただき感謝申し上げます。県内の感染者も増加傾向にあり、また気を引き締めないといけない。新型コロナウイルスの影響は、慢性腎臓病対策にも及び、昨年度3月に計画した県民公開講座や研修会は中止となった。今年度の活動にも影響があると予想されるが、群馬県の慢性透析患者数等が多い状況にあり、継続して対策を進めることは重要である。このような状況でもどのようなことが出来るか、皆さまにお知恵をいただきながら進めて参りたい。

3. 議事 進行：廣村桂樹会長

(1) 報告事項

①令和元年度群馬県慢性腎臓病対策事業実施報告

(事務局・保健予防課)

- ・資料1-1に基づき、昨年度実施した保健医療従事者研修会、県民公開講座、ホームページによる啓発等について報告した。
- ・資料1-2に基づき、群馬県の慢性透析患者の現状について報告した。慢性人工透析患者数は増加傾向、新規透析導入患者数については昨年度より若干減少しているが全国より高い水準である。
- ・身体障害者手帳じん臓機能障害1級の数については、把握が難しい。

(質疑・意見等)

(廣村会長)

前半は順調に実施していたが、後半は新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら中止せざるを得ない事業があった。今年度どのように実施するかは相談したい。

県の慢性人工透析の患者数については若干減少、また新規導入者数も若干減少している。これが継続していけるよう、対策をしっかりとっていく。

身体障害者手帳じん臓機能障害1級の新規数について、糖尿病性腎症によるものかどうかの内訳については、県担当に相談したが、目的外使用となるため出せないとのことであった。地域別に新規透析導入者のうちの糖尿病性腎症による者の数を知ることは大変重要であるので、なんとか確認できないか。日本透析医学会の場合は、医療機関ごとの数となるため、実際の患者居住地別数とは乖離がある。把握する方法について、良い方法があれば御提案いただきたい。

(植木委員)

確かに新規透析導入者数を減らすことは一つのターゲットであるが、新規透析導入者の数だけではなく、新規透析導入者の年齢構成も見る必要があるではないか。新規透析導入者の年齢は上がっている。つまり、透析導入までの期間が延ばせているということであり、対策が有効であると考えられると思うので、そういったデータを示すことも大事ではないか。

(廣村会長)

確かにおっしゃるとおりである。日本透析医学会で様々なデータを公表しており、群馬県の新規透析導入者は高齢化している。

できれば、新規透析導入者について、エリア別に年齢と糖尿病性腎症による者の内訳が分かるとよいと考えているので、例えば、何らかの臨床研究という形で、透析実施医療機関に調査を行うのはどうか。

(植木委員)

新規透析導入者数自体は、透析施設にどれだけアクセスできるか、高齢者の治療をどれだけ受けられるかも大きく影響している。県外の医師に聞くと、透析患者数が少ないA県などは、病院が遠くて行けず透析を受けられないケースがあり、その点をA県は課題とし

ているという。群馬県の数字が悪いというが、必ずしも群馬県の治療が良くないということではなく、多くの患者さんが受けられるというメリットであるという考え方もできる。

(廣村会長)

確かにそのとおりである。そのためには、透析導入する高齢者が増えているとか、県外からの流入が増えているなどのデータの裏打ちが必要である。

行政から数を得られないとすると、日本透析医学会群馬支部と透析実施医療機関に協力をお願いして、1年間分の新規透析導入者の年齢、居住地、原疾患等の集計について、日本透析医学会の調査の際に、合わせて必要なデータを提出していただくのはどうか。

(植木委員)

専門病院の受診歴についても加えていただけるといい。透析導入されるまでに通院できていた期間も大事なデータである。

(廣村会長)

なるべく簡便に、しかし必要なデータは取れるようにしたい。溜井先生の所属である日高病院は患者数が多いが、この方法は可能か。

(溜井委員)

特に問題なくできると思う。

(廣村会長)

可能なら今年度中に臨床研究という形で倫理審査を行った上で開始できるよう、県と相談して進める。

②「群馬県糖尿病性腎臓病重症化予防プログラム」改訂に向けた見直し内容について

(事務局・国保援護課)

- ・資料2に基づき、プログラムの見直し内容について、関係者の役割に「郡市医師会」を追記すること、様式を見直すことを説明した。

(質疑・意見等)

(廣村会長)

糖尿病性腎臓病予防指導プログラムについては、糖尿病対策推進協議会と当協議会で協力して推進していきたい。今は新型コロナウイルスの影響で保健指導等は難しい状況と思われるが、現状はどうか。

(事務局)

昨年度からプログラムに沿って保健指導を始め、研修を行いながら進めている。1例1例を大切に組み込んでいく。

(川島委員)

新型コロナウイルスの影響で市町村は足踏みしている状況にあると思う。

協会けんぽから県医師会へ話があり、プログラムに沿って市町村と同じようにやりたいとのことで、県医師会でも了解した。連絡票等の様式も同じものを使用してもらえたらと思うので、改訂されたら協会けんぽにも提示して欲しい。

(廣村会長)

今は面談による指導が難しいと思われるが、今は準備期間と考えて、しっかり準備をして欲しい。協会けんぽへも広がったのは良い取り組みである。

(岡委員)

実際何例ぐらいやっているか。

(事務局)

まだ前年度の実績がまとまっていないため、まとまり次第報告させていただく。

(柳沢委員)

指示書に対する作成料については、料金が発生するということでよいか。

料金設定については今後示されるということでよいか。

(事務局)

様式は、指示書作成料を負担することを前提に作り直している。

標準的な取扱いとして金額や請求の手順等を示す予定である。保険者協議会で協議し決定する。示した取扱いどおりでないといけないということではなく、その上で地域による取り決めで進めていただいて構わないという考え方で作っていく。

(川島委員)

金額についてはすでに案が出されていて、県医師会ではこの案で通してある。また、協会けんぽも同じ金額とすることで今動いているので、この金額になると思う。

(廣村会長)

重症化予防プログラムについては重要な取り組みであるので、今後も推進していく。

(2) 協議事項

①慢性腎臓病に関する「健康フェスタ」について

(事務局・保健予防課)

- ・資料3に基づき、11月に予定している健康フェスタの開催方法案について説明した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、動画等を作成し啓発をする方法を提案。

(質疑・意見等)

(廣村会長)

健康フェスタについては、元々3月に開催していたが、3月は行事が多いことから、今年度から11月開催へ設定したが、新型コロナウイルスの状況を見ると厳しい状況である。ここ数日の状況でまた不安がある。動画を作り県の動画チャンネル tsulunos やホームページへのアップという方法もよいかと思う。状況により可能であれば健康フェスタ会場で啓発を行う。

(岡委員)

東日本腎不全研究会ではパンフレットはあるので、会場に設置することは可能である。動画は改めて作成する必要がある。動画チャンネル tsulunos はいつでも誰でも見られるものか。イオン高崎で動画流すとしたらどのようなにするのか。

(事務局)

動画チャンネル tsulunos はいつでも誰でも視聴可能である。イオン高崎の会場では、ステージの上にスクリーンを設置して投影することを考えている。

(岡委員)

会場にパソコンを設置できるなら、eラーニングのアプリを紹介できたらと思う。

(溜井委員)

新型コロナウイルスの状況が心配である。イオン高崎で掲示中心として蜜を避ける対策をすとしても、人が集まるため、クラスターの発生なども心配してしまう。場所へ人を誘導するのはリスクが高いのではと思い始めている。空間を決めてではなく、動画やリーフレット等を自分の場所で見られるようにするのもいいのではないか。

(廣村会長)

確かに今の状況を考えると人を集めるのは難しい。県主催なのでより慎重さも求められる。

日本腎臓学会では、新型コロナ対策用の動画をQRコードで配信し、個人のスマホで見られるようにしており、そのような形もいいと思う。

コンテンツ作成とイベント実施は別に考える。これをきっかけにコンテンツを揃えられたらよい。

(溜井委員)

これまで動画を作成したことはないが、教室を撮影して入院患者へ見ていただくことはある。

(田尻委員)

県薬剤師会では、リーフレットであれば既製のものがあるが、せっかくなので作れたらと思う。動画も面白そうである。いい機会なので挑戦してみたいと思う。

(塚越委員)

県栄養士会では、リーフレットはたくさんある。動画は作成したことないが、声がかかれば料理の動画や生活習慣へのアドバイス等できると思う。病院では、フェイスブックを使い発信しているが、横のつながりで拡散し驚くほど効果があるので、それも試してはどうか。

(柳沢委員)

動画の作成には協力できると思う。安中市では、離乳食や沐浴の動画を作りアップする準備している。

市民に相對しているのと、ネット環境にない住民も多く、動画だと見られない人も多い。他に啓発する媒体を考える必要がある。

(廣村会長)

CKDの患者は高齢者も多く、ネットへアクセスが難しい人に向けてどうするかは課題であるため、考えていきたい。

(川島委員)

動画を作成することに賛成である。新型コロナウイルスの影響は簡単には収まらない。動画は無駄にはならないので、上手く啓発に使って欲しい。動画を見られない方への対策は考える必要があり、見られる会場をどう感染予防をして設置するかなど、実施については検討する必要がある。検討することは可能であるので、色々な方法で動画を活用できたらよい。

(岡委員)

会場でやる場合についてだが、リーフレット等を1カ所に置くのは心配ということであれば、オリエンテーリング的に数カ所へ置く方法もあるのではないか。景品は用意する必要があるかも知れない。

(廣村会長)

工夫をして、安全第一でできる範囲で行えたらと思う。

動画は群馬県オリジナルのものができればと思う。今後も意見を上げていただきたい。県と相談し、具体的な段取りを決めて示したい。委員の皆さまには、どのような動画を作成できるか下準備を進めておいていただきたい。

②慢性腎臓病県民公開講座について

(廣村会長)

例年、3月の世界腎臓デーに合わせて実施している。昨年度は伊勢崎市で開催する予定が中止となった。今年度3月は人が集まるのは難しいと考えているので、ウェブ方式で2時間程度の講座を時間の限定をして配信する方法を考えている。Zoomなど遠隔通信を使い、リアルタイムで配信する方法も考えられる。高齢者はアクセスが難しいかも知れないが、家族と見ていただくなどで広く啓蒙したい。

(質疑・意見等)

(岡委員)

3月だとより危険度が増すと予想されるので、ウェブ形式の開催でよいと思う。

(廣村会長)

ウェブ形式で開催する方向で、県と検討していく。

③保健医療従事者向け研修会について

(事務局・保健予防課)

- ・資料3に基づき、今年度の研修会の開催案について説明した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、ウェブ形式での開催も検討したい。

(質疑・意見等)

(廣村会長)

おそらくウェブ形式になると思われる。

(川島委員)

やはりウェブ形式で全員が受講できるかどうか、リアルタイムでやるとすれば100人以上の人数を対応できるかも検討する必要がある。

県医師会では、オンライン開催に加えて、会場もたくさん用意して実施している。一つの会場には5人程度でも、会場を10とか20用意して参加枠を確保する。

(事務局)

案としては、動画として撮影し期間限定でURLから視聴していただく方法を考えている。

(川島委員)

例えば、各郡市医師会を会場にすることもできるので、会場の設置も考えてもらえるとよい。

(廣村会長)

1回目は基礎編、2回目は栄養編、3回目が医師向けである。県栄養士会では会場を複数設置することは可能か。

(塚越委員)

県栄養士会では地域ごとに会場を見つけることは難しい。県庁等が借りられればと思う。

(廣村会長)

研修会については、開催方法を早めに検討していく。

④CKDシールの普及について

(事務局・保健予防課)

・資料3に基づき、CKDシールの配布状況について説明した。

(質疑・意見等)

(廣村会長)

CKDシールは普及をしていきたい。糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムにもCKDシールを活用して指導することを記載している。

(川島委員)

忘れられてしまう心配もあるので、機会をみてまた県医師会員にも配布して欲しい。

(田尻委員)

お薬手帳へCKDシールが貼ってあるのをたまに見かけるが、もう一度皆さんに認識を新たにさせていただくよう、啓発できるとよい。

(3) その他

特に意見なし

(廣村会長)

色々と課題があるが、委員の方々と県と相談しながら出来るところから始めていく。1年間よろしく願いしたい。

(神山室長) 挨拶

今年度、健康づくり推進室長へ着任した。委員の先生方の御意見を頂戴しながら施策を進めて参りたい。

4. 閉会